

行政書士会と災害時等における行政手続の支援活動に関する協定を締結

問企画政策課☎724・2103

新型コロナウイルスなどの感染症や災害が発生した際に、市民の皆さんが公的支援制度を活用する場合、さまざまな手続きが必要となります。市では、こうした行政手続を支援するため、7月22日に東京都行政書士会町田支部と「災害時等における行政手続の支援活動に関する協定」を締結しました。

この協定により、行政書士による出張無料相談会を開催します。



出張無料相談会

問産業政策課☎724・2129

対市内在住、在勤の方及び市内中小企業者

対象となる経済支援制度

相談内容 世帯や個人、中小企業者向けの経済支援制度に係る申請書類の書き方や手続き方法

世帯や個人向け＝特別定額給付金、住居確保給付金、緊急小口資金・総合支援資金 等
中小企業者向け＝持続化給付金、家賃支援給付金、中小企業者家賃補助、国・都・市の融資制度 等

日時	会場
8月3日(月) 午後1時30分～3時30分	鶴川市民センター
8月6日(木)	堺市民センター
8月7日(金)	南市民センター
8月19日(水) 午前10時～午後3時30分	なるせ駅前市民センター
8月26日(水)	忠生市民センター
8月28日(金)	小山市民センター

認定農業者・認定新規就農者認定書授与式を行いました

問農業振興課☎724・2166

認定農業者、認定新規就農者への認定書授与式を、7月13日に市庁舎で行いました。

認定農業者制度は、市内の農家の中で特に意欲をもって経営の改善・発展に取り組む方を、市が支援する制度です。今回は新規6人、更新12人、合計18人を認定しました。



また、認定新規就農者制度は、市内において新たに農業経営を営もうとする方を、市が支援する制度です。今回は2人を認定しました。

授与式では、石阪市長から一人ひとりに認定書が手渡されました。

戦没者のご冥福と世界平和を祈り 問企画政策課☎724・2103

黙とうを捧げましょう

広島と長崎に原子爆弾が投下され、太平洋戦争が終結してから75年が経ちます。

市では、戦没者のご冥福と世界平和を願い、原爆投下の日と終戦の日黙とうの呼び掛けを行っています。

今年も下記の日時に、防災行政無線で呼び掛けの放送をします。戦没者のご冥福をお祈りするとともに、二度と戦争の起こらない平和な世界を願い、黙とうを捧げましょう。

- 広島原爆投下の日 8月6日(木)午前8時15分から
- 長崎原爆投下の日 8月9日(日)午前11時2分から
- 終戦の日 8月15日(土)正午から

【平和のメッセージを発信します】

被爆75周年事業の一環として、日本非核宣言自治体協議会に加盟する首長が平和のメッセージを掲げました。町田市は日本ユニセフ協会の「子どもにやさしいまちづくり事業」に参加していることから、平和のメッセージに子どもへの思いを込めて、「子どもたちと一緒に、平和で輝かしい未来を創りましょう!」としました。8月第1週から、日本非核宣言自治体協議会ホームページで公開します。

令和2年春の叙勲・褒章

五十嵐忠さんが叙勲(瑞宝単光章)、吉川和男さんが褒章(藍綬褒章)を受章

問防災課☎724・3254

長年にわたる消防活動への多大なる尽力が評価され、令和2年春の叙勲・褒章で、元町田市消防団長の五十嵐忠さんが叙勲(瑞宝単光章)を、現町田市消防団長の吉川和男さんが褒章(藍綬褒章)を受章し、6月23日に市役所を訪れました。



左から、五十嵐さん、石阪市長、吉川さん

指定収集袋(ごみ袋)のデザインが変わりました

問3R推進課☎797・0530

市の指定収集袋のうち、燃やせるごみ専用袋と燃やせないごみ専用袋のデザインを今年度から変更しています。すべてのサイズのデザインを変更し、新たなデザインには4コマ漫画が掲載されています。

町田市3R推進キャラクター「エコバッグちゃんファミリー」が登場する4コマ漫画には、ごみ減量のヒントとなる内容が載っていますので、ぜひご覧ください。

なお、販売店舗ごとに新デザインへの入れ替え時期が異なるため、旧デザインのまま販売している店舗もあります。今回のデザイン変更に伴う袋の材質や使用方法の変更はありませんので、新旧どちらのデザインでもこれまで通りお使いいただけます。



燃やせるごみ専用袋(左)と燃やせないごみ専用袋(右)

7月から10月は台風の季節

問防災課☎724・2107

大雨に備えましょう

10月にかけて、台風の発生など大雨による災害が起こる可能性があります。7月に起きた全国各地の豪雨では、人や建物に甚大な被害を及ぼしました。

■日頃の備えはできていますか■

①情報の備え

市のホームページを確認したり、町田市メール配信サービス等に事前に登録しておく、いざという時の安心につながります。

町田市ホームページ



町田市メール配信サービス



携帯電話版



スマートフォン版

②危険な箇所の確認

土砂災害ハザードマップや洪水ハザードマップで自宅や周囲の安全確認をしておく、いざという時の避難行動の助けになります。

必要に応じ、土のうの準備なども有効です。

③非常持ち出し品の準備

避難施設へ持参する持ち出し品のリストを、ハザードマップで確認することができます。

■感染症にも注意が必要です■

新型コロナウイルス感染拡大に配慮し、市では避難施設での三密を防ぐため、収容スペースを増やす等の対策を行います。自宅での安全確保が可能な場合は自宅で待機する、避難施設内では基本的な感染予防対策を徹底する等、感染防止にご協力をお願いします。

今号の広報紙は、11万3231部作成し、1部当たりの単価は26円となります(職員人件費を含みます。また作成経費に広告収入等の歳入を充当しています)。